

IV 平成 26 年度 事業計画

定款第 4 条に定める各号の事業を以下のように行う。

1. 研究発表、討論、共同研究会等の開催
 - (1) 第 56 回大会を上智大学で開催する。
2. 機関誌、その他研究に必要な資料、文献の公刊
 - (1) 機関誌『オリエント』第 57 巻第 1 号、第 2 号を刊行する。
 - (2) 機関誌 *Orient* vol. 50 を刊行する。
3. 研究に必要な文献、遺物、標本などの収集、保存、公開
 - (1) 海外から専門学術雑誌約 70、国内から専門学術雑誌約 100、内外の専門書等を、主として寄贈・交換により収集・整理する。
 - (2) 新たに収集した文献等は、学会事務局内の資料室で会員等に公開する。
 - (3) 機関誌バックナンバーのウェブ上での公開を進める。
4. 学術調査、共同研究
 - (1) オリエント地域で実施される本学会会員による学術調査、本学会会員の参加する共同研究を後援する。
5. 専門研究者の育成
 - (1) 第 36 回日本オリエント学会奨励賞を授与し、若手研究者の研究を助成・奨励する。
 - (2) 大学院生などの若手研究者の大会発表に遠距離交通費を助成する。
 - (3) 大学院生などの若手研究者による機関誌『オリエント』寄稿論文欧文梗概の校閲、同じく機関誌 *Orient* 寄稿論文の欧文校閲に要する費用を助成する。
 - (4) 各種学術奨励団体の依頼に基づき、受賞候補者等の推薦を行う。
6. すぐれた研究業績の顕彰
 - (1) 第 3 回三笠宮オリエント学術賞の選考を行う。
7. 国内および海外の他の学術団体との連絡、協力
 - (1) 機関誌『オリエント』を国内の 72 学術団体、海外の 19 学術団体に送付する。
 - (2) 機関誌 *Orient* を、国内の 7 学術団体、海外の 158 学術団体に送付する。
 - (3) 日本学術会議協力学術研究団体である東洋学・アジア研究連絡協議会等において、関連学協会との連携を図る。

8. 研究成果を社会に還元し、研究分野への社会の関心を高めるための講演会開催等の事業
 - (1) 定例公開講演会を、総会と同日同会場で開催する。
 - (2) 第56回大会開催時に、学会創立60周年を記念する公開講演会等を開催する。
 - (3) 関西地区公開講演会を同志社大学一神教学際研究センターと共催で開催する。
 - (4) 栃木県オリエント協会や香川オリエント協会等と共催で、セミナーを企画・実施する。
 - (5) 中学校・高等学校に在籍する生徒を対象として、「オリエント世界」作文コンクールを実施する。

9. 会員の親睦協力を促進するための事業
 - (1) 第56回大会開催時に、会員の懇親会を実施する。
 - (2) 会員名簿を作成、配布する。

10. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業
 - (1) 学会創立60周年を記念する事業を実施する。
 - (2) 平成26年4月1日付けで、月本昭男会員を顧問に任命する。
 - (3) 諸規程を整備する。
 - (4) 学会ウェブサイトおよびメーリングリストを運用する。
 - (5) 国内研究教育機関等の求めに応じて機関誌を販売する。
 - (6) その他、理事会の議を経て、適宜行う。

以上